

大会結果

練心館空手道第22回北部九州 空手道選手権大会入賞報告

10月11日(日)、練心館空手道第22回北部九州空手道選手権大会が北九州市若松体育館で行われました。参加選手約700名という大規模な大会で、上毛町在住の選手が下記のとおり入賞を果たし鶴岡町長に報告に訪れました。

- 型試合幼児の部(参加選手26名)
8位 出口祐里(新吉富支部)
- 型試合小学生高学年の部(参加選手125名)
8位 中亮太郎(新吉富支部)
8位 熊谷流生(大平支部)
- 型試合中学生の部(参加選手54名)
優勝 出口翔一(新吉富支部)
8位 坂田紗貴子(大平支部)



大会結果

第19回築上郡ソフトボール大会結果

10月25日(日)、多目的運動広場で第19回築上郡ソフトボール大会が開催されました。築上郡内各地区から9チーム(壮年の部5チーム、一般の部4チーム)184名が参加し、各町代表チームによる熱戦が繰り広げられました。上毛町代表チームの結果は次のとおりです。



▲壮年の部(Aパート)準優勝 西友クラブ(上毛町)

大会結果

第8回上毛町ゲートボール大会結果

10月22日(木)、多目的運動広場ゲートボール場で第8回上毛町ゲートボール大会が、町内各地区から8チーム44名が参加して盛大に開催されました。結果は次のとおりです。

- 優勝 安雲西 ●準優勝 安雲東 ●第3位 垂水

大会結果

第19回九州地区選抜 空手道選手権大会

11月8日(日)、シーハットおおむら(長崎県)で第19回九州地区選抜空手道選手権大会が九州各県の代表選手約400名が出場して盛大に行われました。豊築支部からも福岡県代表として2名の選手が出場し、日頃の練習の成果を発揮し中学生男子組手の部で角誠二郎選手が優勝を収めました。



コウゲ・キッズ

ドッジボールクラブ 「コウゲ・キッズ」レポート

10月18日(日)、別府アリーナ(大分県)で第12回つたやカップが開催され、九州7県から40チームが参加し激戦を繰り広げました。町のドッジボールクラブ「コウゲ・キッズ」は連戦の疲れも見せず、この大会でものびのびとプレイすることができました。大分県チャンピオンとの対戦では引けを取らない熱戦を展開し、惜しくも敗れましたが選手たちは大きな自信を手にしたようです。子どもたちは、大会に行くたびに友達を増やし交流を深めています。コウゲ・キッズは、交流育成も大事にしているチームです。小学生の皆さん、コウゲ・キッズに入って友達をたくさん作りませんか。

- 問い合わせ先
角 純一(コウゲ・キッズ 代表) TEL 72-4284





大平保育所園児と「地域おこしの会」の皆さん

新吉富保育所園児



保育所 芋ほり体験

新吉富保育所園児は保育所の畑で自分たちが育てた芋を、大平保育所園児は「地域おこしの会」の方に協力いただき大平楽園の芋畑で芋ほりを行いました。さわやかな秋空の下、子どもたちは自分の顔くらい大きなお芋などたくさんのお芋をあっという間にほり上げ、満足そうに持って帰りました。保育所や家でおいしいおかずやおやつで食べることを子どもたちは楽しみにしていました。

スポーツフェスタ in 2009 上毛町史跡探訪クリーンウォーキング



覚円寺



矢方池



コース途中



山田古墳



町体育協会城戸会長の講評

10月18日(日)、大ノ瀬官街遺跡をスタートし、町内の史跡を巡りながらゴミを拾い歩くスポーツフェスタ in 2009 上毛町史跡探訪クリーンウォーキングが開催されました。秋空のもと51名がさわやかな汗を流しました。主催した町体育協会の城戸会長は「思っていた以上にゴミが捨てられていました。特にタバコの吸殻が多かったです」と拾い集めたゴミの前で講評を行いました。



▲芸能ステージ(競演)



▲芸能ステージ(競演)



▲芸能ステージ(大正琴)

▲作品展示(洋服)
昔の着物が洋服に大変身▲作品展示(粘土の花)
本物そっくりの力作揃い

▲ハンドフルートコンサート(チャイルド・フッド)

第4回 上毛町文化祭

10月31日(土)、11月1日(日)の2日間、げんきの杜で第4回上毛町文化祭が盛大に開催されました。上毛万年音頭で開幕した芸能ステージでは、文化協会会員やボツボ保育所の園児など55組が日頃鍛えた腕前を披露し、観客から盛大な拍手が送られました。

作品展では、会員、保育所(園)、小中学校など35組から華道・押花・フラワーアレンジなど17部門の作品が出品され、げんきの杜全館を華やかに彩り、訪れた多くの方は文化芸術作品の世界を楽しんでいました。

1日午後には、手を使って笛のように音を奏でるハンドフルートコンサートが催され、多目的ホールは心温まる音色に包まれました。

町内の多くの皆さんにご来場いただき、この2日間、げんきの杜はこの年一番の盛り上がりとなりました。

**東九州自動車道のりめん
法面緑化プロジェクト**

地域の種を育てて東九州自動車道に植えよう!

11月5日(木)〜13日(金)に町内小学校の1、2年生が東九州自動車道法面緑化プロジェクトに参加し、大池公園でクヌギ、コナラ、カシの種(どんぐり)を拾いポットに植え付けました。ポットにはそれぞれ子どもたちの名が付けられ、西日本高速道路(株)の滋賀県にある専門施設で3、4年かけて苗木に育成され、東九州自動車道が開通する前に再び子どもたちの手によって高速道路の法面などに苗木が植え付けられます。

移動科学館

10月25日(日)、農業者トレーニングセンターで移動科学館(福岡県青少年科学館主催)が開催されました。セグウェイなど約30種類の体験展示物やサイエンスショー、コッブコースターなどのチャレンジ教室(実験工作)は子どもたちにとっても魅力的なもので、科学の世界を十分満喫していました。

エアバスカー

サイエンスショー



平成21年度福岡県麦作共励会
福岡県知事賞 集団の部(優良賞)受賞

下唐原西區機械利用組合(下唐原)

10月28日(水)、福岡市で福岡県麦・大豆づくり生産者研修会が行われました。麦の生産技術及び経営改善の面から先進的での他の模範となる功績が福岡県知事から認められ、集団の部優良賞を受賞されました。組合長の向井一浩さん(下唐原)は「組合員皆さんの協力により受賞できました。皆さんに感謝し、これからも機械利用組合を益々発展させていきたいです」と受賞の喜びと今後の抱負を語っていました。



平成20年度福岡県豆類経営改善共励会
福岡県米・麦・大豆づくり推進協議会会長賞
集団の部(優良賞)受賞

農事組合法人吉岡・中村営農組合(吉岡)

10月28日(水)、福岡市で福岡県麦・大豆づくり生産者研修会が行われました。大豆の生産技術及び経営改善の面から先進的での他の模範となる功績を福岡県米・麦・大豆づくり推進協議会会長から認められ、集団の部優良賞を受賞されました。組合代表理事の中宏さん(中村)は「これから、大豆の品質向上と機械の運転技術向上を目標として、安定した農業経営を持続させていきたいです」と今後の抱負を語っていました。



福岡県農林水産まつり
農林水産賞(優秀賞)受賞

新見修氏(土佐井)

11月7日(土)、福岡市で第17回福岡県農林水産まつり記念式典が行われ、農林水産まつり全体の振興に貢献していただいた功績を福岡県知事から認められ、優秀賞を受賞されました。新見さんは「微力ながら、今後の地域農政の発展に協力していきたい」と語り、力強い熱意が伝わってきました。